

子ども・若者の生きづらさによりそって

# 教育を語る

前川 喜平さん

(前文部科学省事務次官)

と き: **10月4日(水)**

**18:30** ~ (入場 18:00)

と ころ: **浦和コムナーレ多目的ホール**  
(浦和駅東口パルコ 10 F)

参 加: 入場を希望する方は、事前の予約が必要です。  
下記①②または、後援団体へ申し込んで下さい。  
定員(400人)に成り次第締め切ります。  
資料代(500円)を当日受付で頂きますので、  
ご了承下さい。

主催: 前川喜平さん講演会実行委員会

川口自主夜間中学代表・金子和夫、前島英男(元小学校教師)、飯塚進三(元高校教師)

後援: 埼玉県教職員組合・さいたま教育文化研究所・子どもの人権埼玉ネット、教育と自治埼玉ネットワーク

①Tel: 090-1668-6232 (前島)

②mail: chako19@jcom.home.ne.jp (飯塚)

「あったものをなかったものにはできない」

「行政がゆがめられた」

前代未聞の官僚トップにいたひとの証言は  
衝撃的だった。

以来、官邸と官僚の関係、官邸とメディア  
の関係など、この国の異常なしくみを国民が  
知るところとなり、前川氏個人攻撃はブー  
ランとなって政権の支持率を急落させた。

しかし、今回は加計問題ではなく

## 待ったなしの教育問題について

給食のない夏休み明けに

げっそりやせて登校する「子どもの貧困」。

かつては楽しかった学校も

“学力”競争に追い立てられ

いじめ、不登校、自死が後を絶たない。

バイト漬けの学生生活

ブラック企業に生きる若者たちの生きづらさも

その延長線上に。

文科省時代から、貧困や夜間中学の問題に寄  
り添ってきた前川さんが、こうした現実をどう  
読み解き、次世代の未来をどのようにお考えか、  
ぜひ伺いたい。